

【議事録概要】

会 議 名	第2回港区客引き行為等防止巡回指導業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	平成31年1月11日（金）午前10時から12時まで
開 催 場 所	区役所5階 防災危機管理室会議室
委 員	出席者 5名 高橋委員長、長谷川副委員長、真庭委員、吉田委員、山田委員 欠席者 なし
事 務 局	防災危機管理室危機管理・生活安全担当 滑川課長、生活安全推進担当 安藤係長、 生活安全推進担当 石田
会 議 次 第	開会 1 第1回選考委員会議事録概要について 2 第一次選考結果について 3 第二次選考について 4 仕様書（素案）について 閉会
配 付 資 料	(席上配布資料) 資料1 第1回港区客引き行為等防止巡回指導業務委託事業候補者選考委員会議事録概要 資料2 港区客引き行為等防止巡回指導業務委託事業候補者選考一次結果集計結果 資料3 第3回選考委員会進行スケジュール（案） 参考資料1 港区客引き行為等防止巡回指導業務委託事業候補者選考方針 参考資料2 仕様書（案） 参考資料3 第二次審査採点基準表 港区客引き行為等防止巡回指導業務委託採点基準表（第一次審査）

会議の結果及び主要な発言（メモ）	
（発言者）	
委員長 事務局	【開会】 配布資料の確認
事務局	【1 第1回選考委員会議事録概要について】 資料1に基づき説明。修正箇所等があれば事務局まで連絡してもらう。
委員長 事務局 委員長	【2 第一次選考結果について】 「次第2 第一次選考結果」について、事務局からの説明をお願いします。 資料2に基づき説明 審査にあたり評価したポイントについて各委員から順番に全体の講評をお願いします。
D 委員	過去の実績を考慮し、点数を高め配点した。実施体制についても警察と連携し、業務を行えることが期待できるため、高く評価した。欠員時の代替体制及び安全対策のうち隊員の装備部分に関しては二次審査で事業者の詳細を確認する必要があると考える。
C 委員	後程個別に講評する。
E 委員	業務のノウハウの蓄積がある点、地域の特性や環境変化を理解している点を評価した。指導教育責任者の実績からも高評価とすることができる。しかし、今後3年間の到達目標が少し消極的に感じられた。
B 委員	受託実績及び警備員指導教育責任者の実績等については十分であると評価できる。人材確保について外国語対応のできる隊員の確保や研修体系がしっかりしている。各地区における分析、改善手法についてはよく分析できているため高評価とした。実施体制についての記述はやや具体性に欠けている印象がある。
A 委員	内容が相当程度具体的であり、明らかな矛盾がないため、高評価をつけている。
委員長	総括するとこれまでの業務委託実績がある点を評価している。しかし、現場をご存知の委員からは実勢体制についてやや抽象的な部分が物足りない点、3年後の到達点がやや見えにくい点が指摘されている。本日は追加資料を求めていくのか、また、二次審査に移行した場合にどういった点を聞くのか等を意見交換できればと考えている。
委員長	各委員で評価点に大きな差がある項目は評価理由の説明が必要になるので、各委員から説明いただき、意見交換していく。 まず、採点基準表の「4（3）警察等関係機関との連携」について各委員から説明をお願いします。
D 委員	今後の連携が期待できるため高評価とした。
C 委員	今後の連携等についてやや抽象的であると感じられたため、高評価としなかった。
E 委員	地元企業として、地域の様々な活動に参加し連携をとっている点や教育担当者や警察官OBを採用している点を評価した。
B 委員	提案書の記載内容については当然の内容が記載されているが、若干具体性に欠ける

	部分があるため可もなく、不可もなくという評価とした。
A 委員	ある程度具体的な内容であり、平均点以上としたが、一部具体性に欠ける部分もあった。
委員長	全委員の説明が終わったので、意見交換にうつる。
C 委員	高評価としたD委員、E委員の一方でC委員についてはやや評価が低い。現行の事業者は警察との連携が一部上手くいってない現状がある。そういった背景があるため、今回応募してきたA事業者の提案書で連携について、より具体的かつ期待できる内容を提案していただきたかった。
B 委員	提案書についてはやや具体性に欠ける部分があるため、今後事業者として選考された場合にどのように連携をとっていくのか二次選考で補足資料を求めてもよいのではないかと。
E 委員	警察署以外との連携を見てみると、提案書では地元企業や消防署との連携も実績として記載があり関係機関との連携がとれていると評価している。
委員長	各委員からの意見を踏まえこの後の振り返りの参考にさせていただきたい。 次に「6（1）新橋地区の地域特性を踏まえた改善手法について」、「6（3）赤坂地区、大門・浜松町地区、田町地区、品川地区の地域特性を踏まえた改善手法について」各委員から説明をお願いします。
D 委員	各地区における実態の分析はよくできている。
C 委員	各地区の分析についてはもう少し精査した内容を提案していただきたかった。
E 委員	地域特性については十分把握しており、データもしっかり持っている。 改善手法については、定点立哨と巡回指導に関して定点立哨がやや比重として大きくなっており巡回指導の方がやや手薄のように感じる。また、期待される効果として客引き行為の範囲の縮小との記載があるが、壊滅するくらいの提案をしていただきたかったため、やや消極的な印象を受けた。
B 委員	実態の分析についてはよくできている。六本木地区との違いも明確に記載されており、地区ごとの特徴を押さえた分析となっているため評価できる。具体的な改善手法についても新橋地区のホットスポットを重点的に巡回すると記載がある等、通り一辺倒の対応ではなくポイントを押さえた対応となっていることからそれなりに評価できる。
A 委員	具体的な状況の把握ができている。対応も評価できる記載となっている。
委員長	各委員の意見交換にうつる。
委員長	E委員から発言のあった巡回指導の方がやや手薄に感じるといった内容については、巡回指導の方が定点立哨より効果があるという視点での意見なのか。
E 委員	現状の配分による対応で実際に効果があがるのかといった点が見えにくいという観点からの意見である。
委員長	定点立哨と巡回指導の配分についてどのように考えるか。
D 委員	定点立哨よりは巡回指導の方が効果があるのではないかと考える。定点立哨の場合は止まっていて何もしていないような印象を受けるからである。
C 委員	客引きを行うエリアはほぼ決まっているため、定点立哨の方が効果があるのではないかと考える。
委員長	各委員の意見を踏まえると地域や実態に応じた対応が必要となってくるという考えでよいか。
B 委員	そうであるかと考える。また、客引き行為をなくすには指導員のパトロールに加え

委員長	警察や地域との連携が必要になってくると考える。 意見交換は以上とする。採点の振り返りを行う際に参考にさせていただきたい。 このあと5分程度、採点の振り返りとする。
各委員 事務局	～採点確認～（5分程度） ～集計～ 再集計資料を配布
委員長 各委員 委員長 各委員 委員長	一次審査の結果については825点で確定してよろしいか。 ～異議なし～ 一次審査の結果を踏まえてA事業者を合格者として決定してよろしいか。 ～異議なし～ A事業者を一次審査の合格者とします。
委員長 事務局	【3 第二次選考について】 続いて「次第3 第二次選考について」事務局から説明を願う。 ～二次審査の採点基準表、二次審査の進行スケジュール及び追加資料の提出を求めるか確認。～
委員長	追加資料を求めるか意見を願う。
D委員	D委員から欠員時の代替体制及び隊員の安全対策で装備に関する意見があり、C委員から警察との連携について意見があったが、この点に関して追加資料を求めるか。 欠員時の体制及び安全対策については二次審査で詳細に説明していただくということによいと考える。
C委員	警察との連携については、委員が理解できるように説明していただければよいと考える。
委員長	それでは、A事業者に対しては、特に追加資料として求めないが、二次審査において「警察との連携、安全対策、定点立哨・巡回指導による効果」をより具体的に説明できるよう準備していただく旨事務局から伝えるということによろしいか。
各委員 委員長 事務局 委員長	～異議なし～ 予定された議題は終了した。 （今後のスケジュール確認）～詳細省略～ 【閉会】